



しよき

ぜんくしろだより



全釧路教職員組合・書記古川和美

2018・8・18

NO8

矢臼別平和盆踊り大会

8月3日・4日に開催された今年の矢臼別平和盆踊り大会は、設営が始まると同時期に日米共同訓練がはじまりました。設営隊が作業する頭の上を砲弾の音が容赦なく鳴り響いています。“ドーン・ドーン・ドスン・ドン”音と振動を感じるたびに怒りがこみ上げてきます。この戦争のための訓練をとりやめて、暮らしや教育のためにまわしてくれればどれほどの人々が助かるだろう。ご飯を食べられないで苦しんでいる子どもたちにお腹いっぱい食べさせてあげたいな。被災地で途方に暮れている人たちに少しでも多くの支援をして欲しいな。砲弾を落とすのではなく物心両面の支援を落として欲しいなと思っ



てしまいます。3日（前夜祭）と4日（本祭）の夜間訓練は行われませんでした。5日の午後12時ちょうど位に早速“ドーン・ドーン”とはじまりました。監視隊は盆踊りのバラしも食事もそこそこに交代でみはっています。

盆踊りは今年も全釧路は大勢で参加し、頑張りました。嬉しかったのは宗谷教組の副委員長、山本民さんが、8月2日から参加し、肉体労働で汗を流してくれたことです。（ありがとうございます）全釧路委員長の「矢臼別盆踊りは設営から来ないと」という言葉に誘われたそうです。「来てみたらやっぱり楽しかった。来年は大勢の仲間を誘って来たい」と語っていました。

福保労釧路分会も9人という大勢で参加、揃いの法被、手作りの団扇で賑やかに会場を盛り上げて見事入賞!!全釧路は釜菴書記長が中心になって行燈を作成し、平和の灯をともしました。

釧路市支部はオスプレイ飛ばすなという大きな行燈を作成し、見事に賞を獲得しました。

設営から参加し、みんなで額に汗してつくり上げる平和盆踊り。今年は54回目でした。参加者数は450人。何といたってもすごかったのは釜菴書記長がつくり、宗谷教組副委員長が読み上げた大会宣言。会場からの“そーだー。アベ政治許せん”の音が飛び交う、悲しみと怒りの大結集を静かにしっかりと綴られています。全文掲載しますのでご覧ください。



沖縄のたたかいに呼应し、北からの安保闘争を！

第54回 矢臼別平和盆踊り大会宣言

ここ数年、日本の各地では自然災害による甚大な被害が相次いでいます。今年も西日本豪雨災害によって多くの人々の尊い命と、それに倍する日常の生活が奪われました。謹んで哀悼の意を表するとともに、物心両面に渡る支援を誓いたいと思います。

さて、この1年ほど政治の腐敗にあきれ、怒り、そして民主主義の危機を感じた年はありません。「もりかけ」に顕著な政治の私物化と、先進国とは思えぬ公文書の改ざん問題は、その真相解明を果たせぬまま国会が閉幕してしまいました。一方でサッカーワールドカップでの日本代表の活躍や西日本豪雨災害など日本中の注目が集まるニュースの、その影に隠れるように、高プロ制度を含む働き方改革法案や、IR法案いわゆるカジノ法案、そして参議院の議員定数改正法案が強行採決されてしまいました。

これらの政府与党のやり方は、どれをとってみても「詳しいことは後で言うから、とりあえずここにハンコ押ししてよ」という詐欺師の手口です。厳しい指摘を受けたらごまかし、はぐらかし、自分は知らなかったことにして責任は下になすりつける。内閣を支える大企業のために、労働者を都合のいいように働かせる仕組みを作る。これではまるで、政府による国民へのパワハラです。こんな問題だらけの安倍政治を、このままにはおけません。

さらに緊張状態が続いていた米朝関係が対話路線へとシフトしつつあり、世界各国が歓迎を表明する中であっても、対北朝鮮の外交姿勢はアメリカ一辺倒です。逆に緊張を高めかねないイージス・アショアに莫大な税金をつぎ込むなど、安倍首相がめざす「戦争をする国」づくりへの準備は着々と進められています。

ここ矢臼別演習場でも、オスプレイを使った日米共同訓練が実施される予定です。すでに米海兵隊のオスプレイ訓練が行われている地域では、傍若無人な低空飛行や夜間飛行、市街地の上空飛行に対して、地域住民の強い不安が広がっています。オスプレイの安全性は一切保証されていません。そのような機体が、私たちの頭上を飛ぶのです。オスプレイでの訓練は、私たちのくらしの安全、安心を脅かすものであり、到底容認できません。

く、私たちの祖父や祖母、父や母が一步一步、汗を流して作り上げてきた民主主義の国・日本が壊されてしまいます。それだけは絶対に許すわけにはいきません。今、あらためて主権者としての私たちのあり方が問われているのです。

世の中がどこかおかしいと漠然とした不安や恐れを感じながらも、行動を起こすこと、声を上げることには躊躇してしまうこともあるでしょう。でも「憲法改悪反対」を訴える仲間の声、「働き方改革のごまかし」を糾弾する労働者の声、「数々の差別発言」に怒りを込めて集う良識ある人びとの声は全国各地で、途切れることなく響いています。ここは私たちの国であると。私たちのために政治はあるのだと。私たちの平和に戦争は必要ないと。

私たちも、この北の大地・矢臼別の演習場のどまん中から高らかに声を上げましょう。戦争する国づくりを許さない。共同転地訓練反対。オスプレイはいらない。憲法を守る。この国の平和を守る。国政の私物化と憲法破壊は許さないと。

そして遠く沖縄に集う仲間たちに届けましょう。強く連帯し、戦争法、共謀罪法のすみやかな廃止と平和憲法堅持を求める世論と運動を発展させるためにともに奮闘しましょう。以上、宣言します。

2018年8月4日 第54回矢臼別平和盆踊り大会

